



2025年3月31日

各 位

会 社 名 株式会社オープンハウスグループ
住 所 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
代 表 者 名 代表取締役社長 荒井正昭
(コード番号:3288 東証プライム)
問 合 せ 先 専務取締役CFO 若旅孝太郎
TEL. 03-6213-0776

「ポジティブ・インパクトファイナンス」 実行に関するお知らせ

当社は、本日、株式会社みずほ銀行（以下「みずほ銀行」という。）との間で、「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス」を実行しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. ポジティブ・インパクトファイナンスについて

ポジティブ・インパクト金融原則（※1）に基づき、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が独自に開発したインパクト評価フレームワークを活用し、当社が抱える社会的インパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）について包括的かつ定量的に評価を受けました。その評価において「ポジティブなインパクトを生み出す意図を持つもの」と確認されたことにより、当該取り組みの継続的な支援を目的とする融資に至ったものです。

2. 本融資の概要

実行日	2025年3月31日
借入金額	50億円
借入期間、金利	7年、実質固定金利での調達
資金用途	事業資金
第三者評価機関	株式会社日本格付研究所（JCR）

3. 当社グループのサステナビリティについて

当社グループでは、「お客様のニーズを徹底的に追求し、価値ある不動産を届ける」ことを企業使命として掲げ、事業に取り組んでまいりました。当社グループのミッションを時代の変化の中で実現し続けることで、社会価値と事業価値の両立を目指す共有価値の創造を実践しています。また、当社グループは、事業活動に伴う社会的責任やSDGs達成へ向けた貢献を強く意識し、環境・社会・ガバナンス（ESG）に関連する課題に対して、事業活動を通じた取り組みを推進してまいります。

4. テーマ

インパクト	KPI	SDGs	
		目標	ターゲット
健康および安全性 [ネガティブ]	ハラスメント抑制の取り組み		8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。
雇用[ポジティブ]、 その他の社会的弱者 [ネガティブ]	障がい者雇用率		8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
ジェンダー平等 [ネガティブ]	女性の管理職比率		5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
気候の安定性 [ネガティブ]	温室効果ガス排出量削減率（スコープ1、2、3） （原単位）（2021年度比）		13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。
エネルギー、資源強度 [ポジティブ]	高性能の断熱材の利用		7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
			12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。

5. 第三者意見

株式会社日本格付研究所（JCR、※3）から本件評価にかかるポジティブ・インパクト金融原則への適合性、および環境省の ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第2項(4)に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースが纏めた「インパクトファイナンスの基本的考え方」との整合性についての第三者意見書を取得しております。

(※1) ポジティブ・インパクト金融原則：国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）(※2) の銀行および投資メンバーであるポジティブ・インパクト・ワーキンググループが2017年に発表したSDGs達成に向けた金融の共通枠組みであり、持続可能な開発の3側面（環境・社会・経済）について、ポジティブ・ネガティブの両面からインパクト評価を行う包括的内容となっている。また、UNEP FIはインパクト特定のツールとして、気候の安定性、水域、エネルギー、生物種、生息地、文化と伝統等34のインパクトエリア/トピックからなるインパクトリーダーを提示している。

(※2) 国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）：1992年の地球サミットに続き、持続可能な金融を推進する目的で設立された、国連環境計画とグローバル金融セクターとのパートナーシップ

(※3) 日本格付研究所ウェブサイト

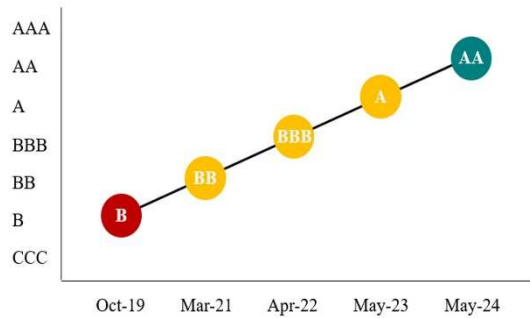
<https://www.jcr.co.jp/>

以上

(ご参考) ESG に関する評価の推移及び ESG 指数への採用状況

当社グループは、サステナビリティに関する取り組みを推進してまいりました。その結果、評価機関による ESG に関する評価は年々改善を続けております。また、それら評価の改善に伴い、ESG 指数への採用も増えております。

MSCI ESG 格付け推移

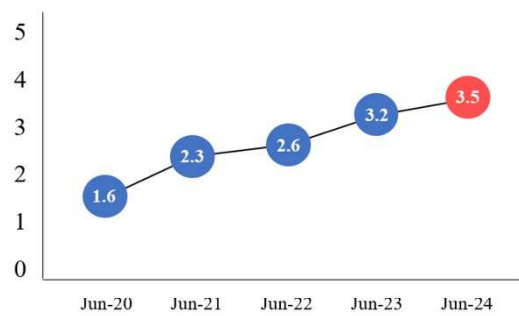


2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

THE INCLUSION OF OPEN HOUSE GROUP CO., LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OPEN HOUSE GROUP CO., LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

FTSE ESG 格付け推移



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan Index

<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/ftse4good>

<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>